

分類	省エネルギー活動 電気・油・ガス	省エネ活動事例				024	
適用	コンプレッサ	題目	コンプレッサの出力見直しとインバータ化による節電				
目的・概要	コンプレッサの使用状況を確認し、適正な出力のコンプレッサを選定した。 コンプレッサをインバータ制御とし、低負荷時の電気使用量を削減した。						
改善内容	〈改善前〉 年間消費電力量 =155,590kwh/年  年間電気料金 155,590kwh/年 × 18.0円/kwh =2,800,620円/年			《改善後》 年間消費電力量 =80,615kwh/年  年間電気料金 80,615kwh/年 × 18.0円/kwh =1,451,070円/年			
							
改善効果	エネルギー種類	エネルギー使用量		エネルギー削減効果	費用削減効果	投資金額	投資回収年数
	電力	改善前	改善後				
		155.6千kwh/年	80.6千kwh/年	75.0千kwh/年	1.350千円/年	7,998千円	6年
	【その他の効果】 遠隔監視によりコンプレッサの状態把握を可能にし、故障内容の迅速な把握および迅速な対応が可能となった。						
評価	(取組実施初年度:            年度)						
	(取組実施翌年度)						
備考	コンプレッサは55kwを2台購入し、月毎に交互運転を行っている。						